

社員一人ひとりが自分らしく “成長への扉”を開くことができる会社へ

当社は人的資本経営を通し、社員一人ひとりの“成長への扉”を様々な形で準備し、社員が自身のWell-beingを大切にしながら、“自分らしく”その扉を開くことができる環境を目指します。これを言い換えると、多様な人材の多様な価値観に向き合い、様々な制度・施策に多様な選択肢を用意することで、自分らしく成長し続けられる環境を実現する、ということだと考えています。

人生100年時代と言われている中で、社員一人ひとりが会社生活の中だけでなく、人生そのものを充実させ、楽しみや喜びにあふれる日々を送れるようなサポートをしたいと考えています。そのためには、社員が「いつでも・どこでも・誰とでも成長できる環境」を会社として実現していく必要があります。

今後も右記の観点で人的資本経営を強化し、多様な人材が自分らしく成長し続けることと、持続的な企業価値向上を実現していきます。



いつでも成長

- 年齢や在籍年数、ライフステージに関係なく、社員が成長できる機会を提供。
- 近年は若手の活躍も増えている強化領域人材において、今後も意欲のある社員の自発的な挑戦を後押しする。
- ジョブ型人材マネジメントを通じ、年齢を問わない抜擢やキャリア自律を促進。

どこでも成長

- 働く地域に関係なく、幅広い業務を経験できる環境を提供し、成長を支援。
- 京浜地区と各地域で、社員がほぼ半数ずつ活躍。どの地域でも上流工程を含む幅広い業務を経験できる環境がある。
- 今後も社員自身や家族のWell-beingを大切にしながら、スキルや専門性を深め、成長し続けられる環境を整備。

誰とでも成長

- 立場に関係なく気づきを伝え合い、自分/相手/チーム全体の成長につなげるフィードバック文化の醸成を目指す。
- フィードバック文化の基盤は「心理的安全性」。そのためのツールがアサーティブ。
- “Better Service For Customers(より良いサービスをお客様へ)”を目指し、アサーティブ・コミュニケーションを日々実践。